

●スマートシティの推進

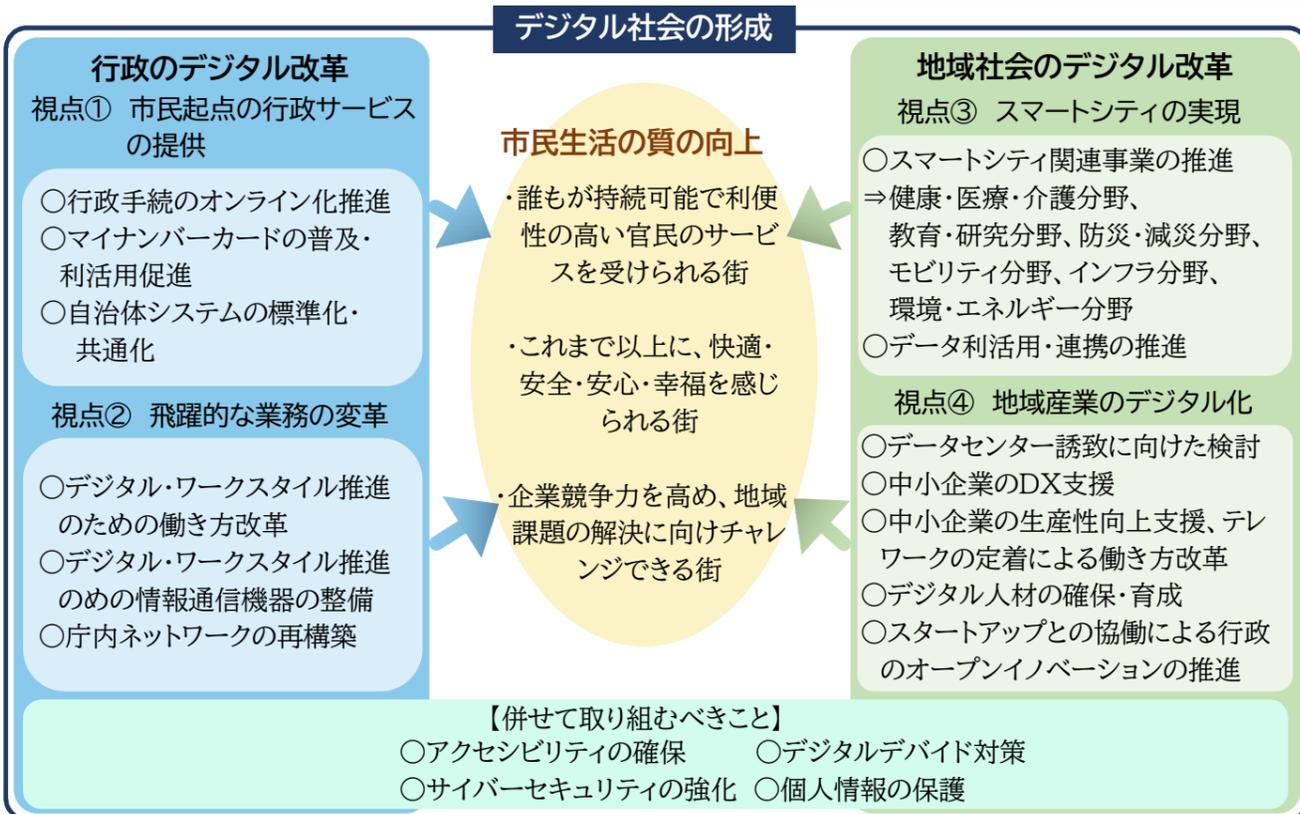
現状

- ◆ 社会全体のデジタル化が加速している中、費用対効果や業務効率化の視点のみならず、「市民の利便性向上」を主眼にデジタル技術を活用し、複雑多様化する社会課題の解決と地域社会の持続的な発展につなげる必要

施策の方向性

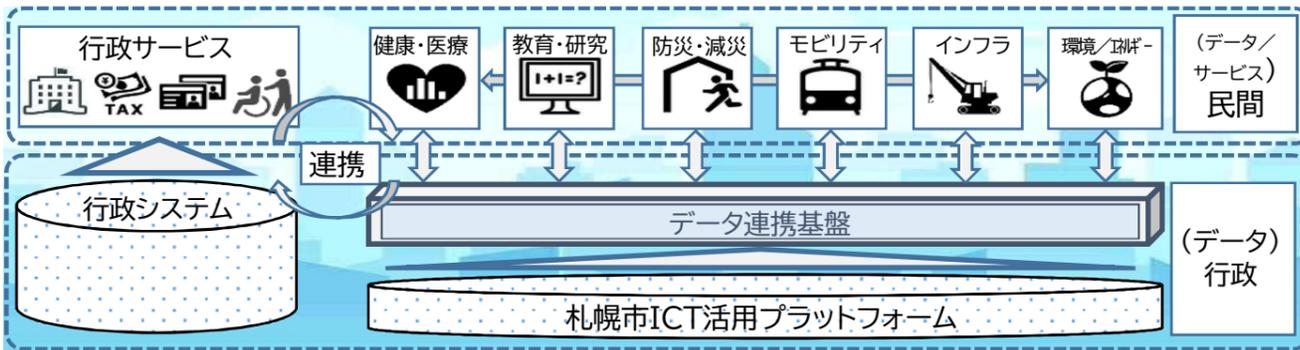
- 誰もが先端技術などの利点を享受でき、生活の快適性やまちの魅力を高めていく
- 行政・地域のデータ利活用、連携により、「行政のデジタル改革」と「地域社会のデジタル改革」を推進し、人口減少社会においても、『誰もが安心して利便性を実感し、真に市民生活の質の向上につながる市民目線によるデジタル改革』の実現を目指していく
 - スマートシティの推進に当たっては、産学官および住民等の共通認識を醸成するとともに、ICT活用により生まれる「データ」を利用できる形で蓄積し、データ連携による新たな価値の創出を目指していく

主な施策



デジタル社会の概念(イメージ)

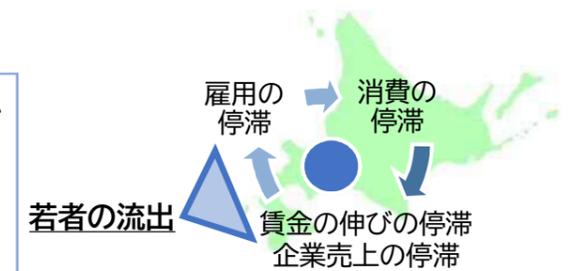
官民のデータ連携により、先進的なサービスが創出され、いつでも個々人に最適化された利便性の高いサービスが受けられる社会



●人材育成・産業競争力の強化

現状

- ◆ 理系人材をはじめとした大卒・院卒者の道外転出が続いており、今後、ますます高付加価値人材の育成、定着につながる取組が必要
- ◆ 新たな札幌経済をけん引する人材育成の推進、産業競争力の強化が必要



施策の方向性

- 誰もが新たな価値や可能性の創出に向けて、挑戦できること
- 産業振興の観点から、更なる成長が期待される地域産業を担う高度人材を育成、創出
 - あわせて、そのような高度人材が能力を発揮できるような産業競争力を強化するための取組を推進
 - 若者の道外流出抑制のため、産学官連携の取組を推進

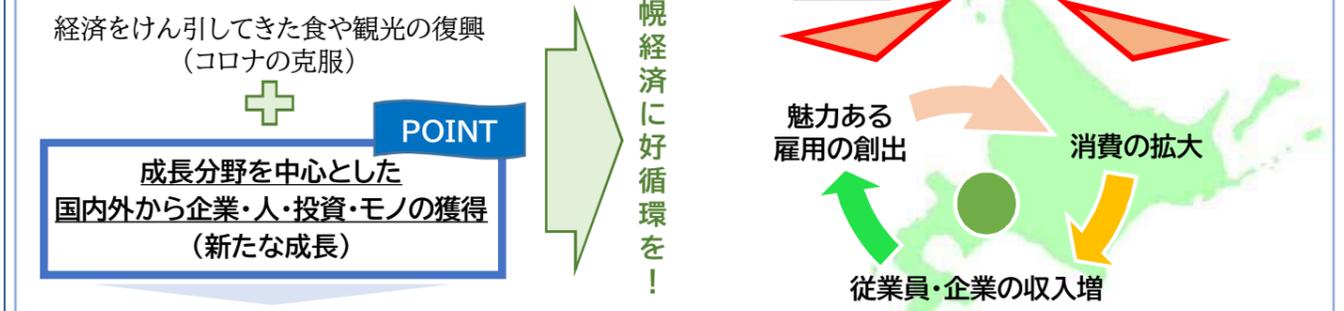
主な施策

①教育分野

- ⇒市立高校・市立大学が連携した地域の特色ある教育の実施
- 旭丘高校において、数理・データサイエンス・AI・ITに関する教育の推進により、「データサイエンス人材」の育成
 - 市立大学において、2022年度から「AITセンター」を設置し、デザイン・看護分野とAI・IT分野を掛け合わせた専門性・実践能力を有する人材を育成するほか、AI技術を活用した産業振興及び地域課題の解決に資する研究を推進



②経済分野



I 企業・人の創出、獲得

- IT人材の育成・確保や成長企業の創出・誘致
- 世界的なバイオ産業都市形成に向けたバイオ人材・企業の育成や研究開発環境の充実
- スタートアップ、支援人材・組織等の集積によるエコシステムの成熟

II 投資・モノの呼び込み

- 海外拠点等を通じて、海外からの投資・人材誘致の推進
- DXやゼロカーボン、SDGsの機運の高まりを捉えた投資の獲得

